

市長に政策提言

合同会派(会派創至・一志会) 令和4年12月26日

- 1 指定管理制度について
- 2 職員の働きかたについて
- 3 空き家対策と相談窓口の設置について
- 4 災害時における「避難行動支援体制」について
- 5 防犯カメラの設置について
- 6 デマンド交通について
- 7 子ども政策について
- 8 障がい者就業・生活支援センターの設置について
- 9 第9期越前市高齢者福祉計画・介護保険事業計画案について
- 10 国道417号線開通に向けた取り組みについて
- 11 越前和紙の取り組みについて
- 12 森林環境税・森林環境譲与税について
- 13 不登校児童生徒への支援について
- 14 国府遺跡発掘事業について



平安前期と見られる「講」の遺構が発見、区画跡か、解明へ前進 市民説明会10月15日



2023年11月 境内の発掘調査で見つかった平安時代前期から中期とみられる遺構(中央) 越前市の本興寺で(同市教委提供)「越前国府」の正確な位置を解明する越前市の遺跡発掘調査で、市教委は22日、調査地の本興寺(国府1)で調査内容を報告した。国府の位置を確定する決定的な物証は出なかったものの、国府に関連する施設の区画溝とみられる遺構が確認された。次年度からは見つかった溝の延長部分を調べ、区画溝の規模を明らかにするとした。

だいぶつの活動から

「今」と「これから」をよりよく過ごしていくために……
孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会へ

今年3月16日、いよいよ北陸新幹線が開通される。新たに4駅あるなかで、唯一「越前たけふ駅」だけが増設ではなく新設の駅となった。それぞれの課題はあるが、何とんでも「かがやき」が一部停車することになったことは、大いに新幹線効果に期待したい。今日まで越前市や近隣市町村の強い要望があったからこそであり評価しなくてはならない。更には、NHK大河ドラマ「光る君へ」の放送がスタートし、紫式部効果も発揮できる年となった。越前市としては、多くの観光客も期待するが、受け入れる側もしっかりとした体制が必要である。今年だけで終わるのではなく、継続した観光誘客の継続性が必要であります。

一方で、福祉行政にも目を向けなくてはならない。生活困窮者の相談の増加や、ひきこもり者への支援、不登校児童生徒への支援体制など、制度の狭間で支援が受けられない方への対策も進めなくてはならない。

2016年12月に「義務教育の段階における教育の機会の確保等に関する法律」(普通教育機会確保法)が制定され、不登校の子どもたちの学ぶ権利が認められた。同法制定から5年が経過した今、不登校に対する学校の対応が大きく変わってきた。そして学習権を保障する教育機会の確保を実現するため、フリースクールなどの多様な学びを展開する選択肢が増え、社会的自立に向けた環境づくりが官民連携で進もうとしている。まずは不登校やひきこもっている当事者が抱えている問題や思いを理解し聞くことが先決だと考えます。

今年も人と人のつながりを大切にし、孤独・孤立に悩む人への支援を全力で取り組んで参ります。



皆様の声をお聞かせください!

困りごと相談窓口: 090-5689-0741

人と人のつながりを大切に!!



障がいのある人もない人も共に支え合う「地域共生社会」を
共に支え合う福祉のまち越前市

第24号

だいぶつ活動だより
令和6年1月

だいぶつ臣一 越前市議会議員「題佛しんいち」
Shinichi Daibutsu

〒915-0071 越前市府中2丁目2-19
TEL090-5689-0741 FAX(0778)42-7237
E-mail: s.daibutsu@echizen-ysc.org
会派 創至



だいぶつ臣一
公式ホームページ

議会活動報告

今こそ、本気で越前国府の所在地解明を

一般質問

令和5年3月定例会 【文化県都宣言について】

市民参加型の発掘調査を

Q 発掘調査の公開はもとより、市内に観光客を呼び込む仕掛けや、文化財の保全と公開を兼ねた施設の設置についての市長の考えは。

A 大河ドラマ館と連携し、発掘調査を紹介するなど、まちなかの調査現場に誘導するなどの取り組みを検討していく。また、市が保有する埋蔵文化財や民具、古文書などの文化財は、どの施設も収容率が限界を迎え、適正な保存や今後の収集に課題がある。

今後、次世代に文化財を継承するため、収蔵・展示・体験を兼ね備えた新たな施設の確保が必要と考えている。

市長に要望書

国府発掘調査に市民団体がボランティア参加協力



3月13日(越府史学会・越前宝の会)

越前国府発掘プロジェクト(5年計画) 越前国府発掘調査(本興寺)



一般質問

令和5年6月定例会 【教育環境の整備について】

不登校の支援(夜間中学の考えは)

Q 国は、全ての都道府県に夜間中学が少なくとも1つ設置されることになっている。不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学を卒業した方、外国籍の方などの、義務教育を受ける機会を保障するために、越前市に夜間中学を設置する考えは。

A 多様化、複雑化する社会状況の変化の中で、指導体制の構築など課題があると考え、現時点では、夜間中学を設置することは考えていないが、県の動向等、情報収集に努めたい。福井県夜間中学は「学び直しの場」、県内でニーズ調査を実施。

だいぶつの思い

全国的に設置が進められている夜間中学では、様々な理由により義務教育を修了できなかった人や、不登校等のためにほとんど学校に通えなかった人、また本国やわが国で義務教育を修了していない外国籍の人などが学んでいる。やり直しのできる学びの場が必要である。福井県も早い対応をして頂くよう要望をしていきたい。



人と人のつながりを大切に!!

この機関誌は政務活動費が使われております

一般質問
令和5年9月定例会

【これからの墓地行政のあり方について】

注目を集める公営「合葬墓」

いま全国各地にて「合葬墓」を整備する自治体が増えて来ている

Q 社会問題化している無縁墓が問題視されている、市は無縁墓の対策をどのようにされているのか、又、将来、自分や先祖の遺骨がどのようになるかという不安を抱えている人も少なくない。市営墓地に合葬墓の整備を考えるべきではないか。

A 継承者不明となっている墓が現在2基ある、今後、無縁化や放置が進み、災害時等における危険性や環境の悪化などが懸念される。墓地のあり方については、色々な課題があり、行政として今後考えていきたい。



秋田市の合葬墓

合葬施設とは、一つの大きなお墓にほかの人の遺骨と一緒に納骨する施設で、埋葬した後は市が永年管理します。少子高齢化や核家族化が進み、将来のお墓の管理が不安な人も安心して利用できます。

だいぶつの思い

「自分が生まれ育ったふるさとに生きた証を残したい」「遠く離れた故郷ふるさととのつながりを持っていたい」という郷土への愛着や思いを馳せる人の思いを実現するため、生きた証としての名前や生年・没年を刻むなど、メモリアルとしての視点を踏まえた墓地整備が求められます。私は、市営墓地に合葬墓の整備を考えたいと思いますがいかがでしょうか。

一般質問
令和5年12月定例会

【中心市街地の賑わいについて】

紫式部プロジェクトに向けて市街地の賑わいの仕掛けは

Q 庁舎前広場を一体化することで各種イベントが開催しやすく市街地の賑わいが創出されると思われるが、広場を活かした今後の取り組みは。また、武生駅前から総社に向けたシンボルロード（表参道）を活かしたまちづくりを考えないのか。

A 今後の活用については、シンボルロードと庁舎前ひろばを起点に、まちなかの神社仏閣や府中城下町の歴史、三大グルメや和菓子などの食を楽しむ、ウォーカブルを推進する。さらに、移住者や若手経営者、クリエイターなどからの意見を聞きながら、若者にミートするイベントにより、にぎわいの創出を目指していく。



だいぶつの思い

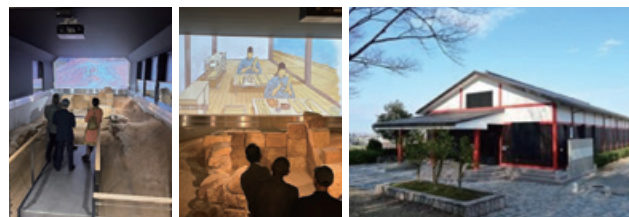
武生駅を出てから総社まで一直線に伸びる地形の道路は珍しいと訪れた人は感じている。総社をアイストップとした「表参道」を感じさせる整備が更に必要。また今後はシンボルロードを活かしたソフト面の仕掛けを考えていきたい。

【文化県都の更なる構築に向けて】

越前国府のあるまちに埋蔵文化財センターや博物館を

Q たけふの歴史は、紫式部から一挙に本多富正に飛んで明治に至ってしまうのではなく、古代の国府、中世の府中守護所、近世の城下町、明治からの産業都市として発展してきた一連の歴史を分かり易く示す必要がある。そのための基礎資料を提供するのが、埋蔵文化財をはじめとする文化財の発見保護であり市史編集作業である。これらの更なる充実が望まれますが、この点について市の考えをお聞かせください。

A 越前市には未だ確認されていない文化財が多く存在すると考えられる。これらを掘り起こし、その文化的価値を明らかにして行くことは、市民一人ひとりがその存在や価値を認識し、郷土への誇りの醸成に繋げるうえで大切と考えている。市民や関係団体、有識者など様々な立場の人たちに協力を得ながら、さらなる地域の宝に磨き上げていきたい。



10月21日(小松市立加賀国府ものがたり館)



(小松市埋蔵文化財センター)



(全国 国府サミットin小松)

Q 活動の最終目標は、埋蔵文化財センター、博物館、美術館等を建設することであるが、市長の考えは。

A 次世代に文化財を継承し、又、市の歴史文化の展示、保存、体験学習を一体的に行う施設として、整備していく必要性はあると考えている。既存施設の利活用や未来創造基地など、様々な可能性を探っていく。

人と人とのつながりを大切に!!

【地域の除雪対策について】

狹隘道路の除雪体制と単価の見直しを

Q 高齢化が進む中、狹隘道路の除雪が地域の負担になっている所が出てきている。除雪体制の仕組みを考える時期にきているのではないかと。また燃料価格上昇を受け、除雪業者や地域住民の経費がかなり増えている。単価の見直しを。

A 住民だけでは除雪が困難で、地域の負担となっている事も把握している。地域の事情をお聞きする中で、地域の負担が軽減されるよう、庁内で検討を進めていきたい。また燃料単価の上昇は、除雪作業にも大きな影響を及ぼすため今後の価格動向に注視しつつ、単価の算定を行っていく。



【再犯防止推進計画の策定について】

行政と民間団体の役割と連携を

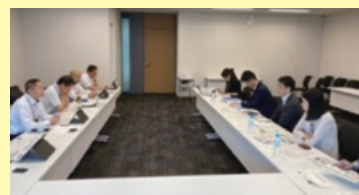
Q 多様化が進む社会において孤立することなく、再び社会を構成する一員となるための計画の推進にあたっては、国、市町、民間団体などと連携・協力しながら再犯の防止に努めなければなりません、どのような課題があると考えておられるのか。また、総合的に相談をできる体制（就労・居住・介護・福祉・保健・医療など）の総合窓口は何処になるのかお聞かせください。

A 再犯防止計画は、地域福祉として一体的に展開することが望ましいことから、地域福祉計画に内包した。基本的には市民協働課が窓口となるが、内容に応じて関係部署と連携しながら進めていく。



【国の政策研修会及び要請活動】 合同会派(会派創至・一志会)

活動 先：衆議院会館の会議室並びに議員会館の県選出国議員執務室
活動目的：国の政策研修会、並びに要請活動



令和5年7月6日(木曜日)～7日(金曜日)

【子ども家庭庁】

- ① 子ども家庭庁の目的と役割について
- ② 少子化対策について

【文化財保存】

- ① 文化財保存活用地域計画について
- ② 文化財保存活用の新たな取り組みについて

【地方創生】

- ① (デジタル田園都市) 国家構想の概要について
- ② 地方創生インターンシップについて
- ③ 地方創生(移住支援の概要)について

【公共施設等総合管理計画】

- ① 計画指針の改定について
- ② 全国の取り組み状況とモデル事例について



【地域の課題を一緒に語り合う会】

会派創至・一志会

『市民の皆さんと地域の課題を一緒に語り合しましょう!!』



11月25日(土) 午前10時～ あいばーく今立 大会議室
午後 2時～ 吉野公民館会議室



【ひきこもりは誰にでも起こりうる】

福井県ひきこもり支援アドバイザーとして



令和5年8月5日 南越前町(ボランティア育成講座)講演会



解決型から伴走型

解決型(結果)を求める支援 ➡ つながり続ける支援

- ・本人が動くタイミングをのがさない
- ・本人が動くとき、繋げる所を普段から確保しておく

人と人とのつながりを大切に!!